

ほほえみ 第142号



ロシアとウクライナが戦争状態になって半年が経過しました。残念ながら戦争は長期化の様相を示しています。日本は戦場からは遠いのですが、台湾の問題もあり、地政学リスクという言葉が頻りに聞くようになりました。歴史的にみれば戦争、インフレ、エネルギー危機、食糧危機と、暗い時代を象徴するような事項が増えており心が沈みます。このような時代には、過去を真摯に振り返る歴史の学習が必要だと思います。

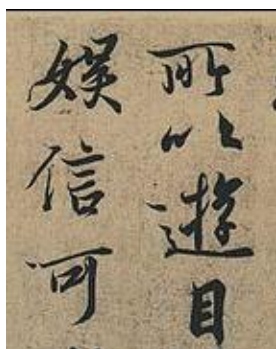
文字の美しさ

学生時代は美しく書くというより早く書くほうが優先されており、ノートにざくざく書きなぐっていたように思いますが、年を経て漢籍を読みはじめ、実際には読むといっても書き写すようになってから、書いた文字が綺麗かどうかを振り返るようになりました。漢字を書くと言っても、大学ノートに筆ペンで書く程度ですが、昨今の筆ペンはなかなか優れているので、文字を書くトレーニングには良いようです。

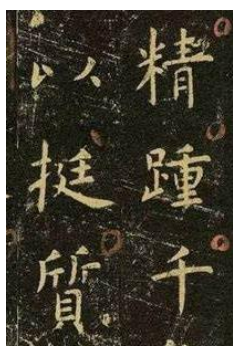
書に関しては、日本だと三筆や三蹟が有名ですが、いずれも平安時代の人です。中国では四大家というのがあります。数字で代表するのが、日本は三、中国は四であるところも面白いと思います。中国の四大家は、唐の時代の人々であり、日本で言う遣唐使の辺りなので時代が近いということも留意が必要です。

三筆や四大家の少し前に、王羲之という書聖が東晋にいたのですが、三筆、四大家ともに王羲之を学んでいます。全員、原点は王羲之ということですね。実際には学ぶというより憧れていたと言った方が正しいでしょう。最初は王羲之の書を学び、その上で個性が生まれてきて、いずれも素晴らしいとされ三筆、四大家となったということです。

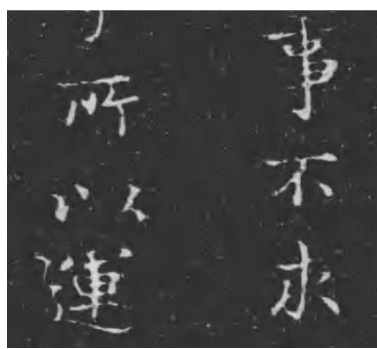
ここで発想を転換し、王羲之の書は三筆や四大家に似ているかといえば、あまり似ていないのです。空海の風信帖など、書き始めは王羲之風ですが、王羲之に似ているのは、三筆、四大家より、王羲之の子孫にあたる智永の方でしょう。違いがどこにあるのかというと、書道家ではないので正確ではないかもしれませんが、筆が穂の弾力で跳ねるところです。基本的には、筆は立てて水平に移動するものですが、王羲之風では、穂先の弾力で上下動します。スキーで例えればモーグルなのです。筆が飛び回るので、コントロールが難しく大転倒しそうなのですが、上手く滑り切ってしまう。特に、王羲之の傑作『蘭亭序』を見ると、筆の着地が明らかに失敗しているようなところがあっても、驚くべきラインでエッジを利かせ難なくまとめています。この技は、唐や平安の時代では薄れます。思うに、王羲之は先の魏の時代の鍾繇の筆遣いを受け継いでいるのではないかと思います。楷書の『還示表』、『樂毅論』、『孔子廟堂碑』を比較すると、鍾繇は粘りがあり、虞世南は静謐で、王羲之は風に靡く樹のように思われます。行書の蘭亭序は踊っていますね。



王羲之『蘭亭序』



虞世南『孔子廟堂碑』



王羲之『樂毅論』



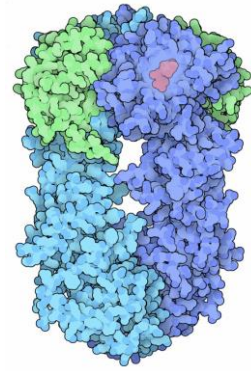
鍾繇『還示表』

消化管間質腫瘍に対するピミテスピブの承認

比較的希な腫瘍ですが、消化管間質腫瘍という疾患があり、この腫瘍の治療に関してはいわゆる抗がん剤が有効ではないことが知られています。その一方で、分子標的薬が有効であるとされており、これまで3種類の分子標的薬が使われてきました。

今回、いままでの系統とやや異なるピミテスピブという薬剤が承認されました。この薬剤は熱ショック蛋白に作用する内服の薬剤です。熱ショック蛋白の機能は十分に解明されているとは言えないようですが、他の蛋白に折り畳み構造ができることを助けるなどの働きが示唆されています。

ピミテスピブは従来の治療の後の段階で、すなわち4番手で使用することとされています。



Hsp90 蛋白質

PDB入門より

<https://numon.pdbj.org/mom/108?lang=ja>

地政学

最近、よく耳にするようになった言葉ですが、地理学でも政治学でもないこの領域のことを知るには、積極的に学ぶ必要がありそうです。元々は、ユーラシア大陸を中心に据え、ランドパワーとシーパワーという二つの潮流のぶつかり合いで、軍事、政治、経済を地図上に落とし込んで議論するものようです。しかし、ランドパワー、シーパワーといっても、映画やファンタジー小説にでてる国のようにもあり、現状の解決に結びつくような学問であるのかが今一つわかりませんね。

ただし、ランドパワーがロシア、ドイツのような元々陸軍主体の国、シーパワーが米英のような海軍国とすると、各々の基本的な発想の仕方を追うことはできそうです。紛争はランドパワーとシーパワーの境界、リムランドで起こるとされていて、今回のウクライナでの戦争もリムランドで起きています。



地政学入門 (中公新書)より

MEMO 9月のがん化学療法科の予定

9月19日 敬老の日
9月23日 秋分の日

診療応援の先生方

月曜日 齋藤里佳先生
第1, 3, 5火曜日 佐々木啓寿先生
第2, 4火曜日 工藤千枝子先生
第1, 3, 5木曜日 笠原佑記先生
第2, 4木曜日 今井源先生



おはぎといえば、つぶあん？